

2025（令和7）年度 東京大学 入試問題 第1問 解答例

- 一 生後一年ごろまでの乳児は、身体由来の体性感覚的情報と外界由来の視覚的情報が統合されず、鏡像を他者と知覚するから。
＊「体性感覚」「視覚」の特質まで説明する。簡潔に表現したい。
- 二 鏡像認知への移行期の乳児は、視覚的に他者のようでありながら体性感覚と連動している鏡像が奇妙で、受け入れにくいから。
＊「奇妙」に感じられ、「どう受け止めてよいのかわからない」ことが、理由の核である。
- 三 群れで育ったチンパンジーは、身体への自他の視点を相互に交換し、他者が見る自己像を学習するので、鏡像認知が可能だから。
＊主語「群れで育ったチンパンジー」は、当然ながら、必須である。この字数の主語を書いても五〇字～六〇字に抑えることができるということが、東大の要求する「簡潔に表現する」能力である。
- 四 乳児における鏡像認知は、単なる体性感覚と視覚像との連合だけでは成立しない。鏡像認知は自己の身体が他者の視点でどう見えるかに気づくという自他関係において他者との共存を学ぶ経験であり、その意味で、自己の身体像は他者の視点を明確に含むということ。（一二〇字）
＊「他者（から）の視点を刻印される」という比喩の適切な置換表現が必須。
- 五 a 探索 b 半端 c 額